

符號ハ裁判略語法ト同一ナレ其記載方ヲ異ニス書點ハ符號(ノ) ヲ云フ

證書 請求書 書面 書類 訴狀 答書 手紙 手帳等ノ如キモノ
裁判書點トハ假令バ 取調書 調書 上伸書 訊問書 證書 偽造
裁判書點

ナスガ如シ以下推シテ知ルベシ

トナシ違警裁判所ナレバ(ノ) トナシ治安裁判所ナレバ(ノ) ト
(ノ) トナシ重罪裁判所ナレバ(カ) トナシ輕罪裁判所ナレバ(ク) ト
符號ハ(シ) トス假令バ大審院ナレバ(シ) トナシ高等法院ナレバ
番所 派出所等ヲ云フ

輕罪裁判所 違警罪裁判所 治安裁判所 警察署 元老院 交
裁判建點トハ假令バ 大審院 高等法院 控訴裁判所 重罪裁判所
裁判建點

トナスガ如シ以下推シテ知ルベシ

シ判事ナレバ(ハ) トナシ警部ナレバ(シ) トナシ書記ナレバ(ク) ト
バ(ハ) トナシ豫審判事ナレバ(カ) トナシ檢事ナレバ(ク) トナ
查 巡查 監守 等ノ類ニシテ符號ハ(ハ) トス假令バ裁判官ナレ
事補 席判事 書記 檢察官 警察官 警部 警部補 特務巡
裁判官點トハ假令バ 裁判官 判事 判事補 豫審判事 檢事 檢
裁判官點

裁判官點

兄(ノ) トナスガ如シ
人(ハ) 被告人(ハ) 原告人(カ) 朋友(ク)
區分中ニアル人點)ニ關スルヲ以テ(ノ)印ヲ要ス假令バ辯護
テ(ノ)印ヲ要セズト雖モ朋友又ハ兄等ノ如キハ他ノ人點(名詞
左ニ示セシ辯護人 被告人 原告人ノ如キハ裁判人點ナルヲ以

約束	規則	家督	相續	抵當	損害	要償
姦夫	姦婦	忿怒	違警罪	未遂犯	契約	定約
相當	証據	事件	國事犯	懇親	懇意	密通
返濟	返答	負擔	義務	情條	情實	觀察
免許	斟酌	理由	意見	陳述	返却	返償
確定	認定	鑑定	口供	公然	無罪	放免
詳明	判然	不充分	兼知	兼託	不兼知	許可
探偵	探知	探訪	聞知	罪狀	酌量	處分
重罪	圍範	詐偽	取財	詐訟	處置	探索
檢察	希望	已決	未決	犯罪	檢査	輕罪
裁判	處刑	刑法	治罪法	法律	對照	審査

略ヲ掲ゲテ之レヲ示サン
 裁判略語トハ總テ裁判ニ關スル言語ヲ略スルノ謂ヒナリ今其語ノ概

裁判略語法

ナレバ(ㄱ) トナスガ如シ以下推シテ知ルベシ
 (ハ) 兇器ナレバ(ㄴ) 金庫ナレバ(ㄷ) 物品ナレバ(ㄹ) 荷物
 異ニス即チ記號ノ右傍ニ符号ヲ記スルモノトス假令バ 証據物ナレ
 符號ハ(ㄱ) (即チ裁判書點ト同一ナリ) トス然レモ其記載方ヲ
 洋小刀 金庫 金銀 金錢 兇器 荷物等ヲ云フ
 裁判物點トハ假令バ 証據物 刀 劍 庖刀 デバ庖刀
 裁判物點

以下推シテ知ル可シ

請求書(ㄱ) 手帳(ㄴ)
 訴訟書類(ㄷ) 書面(ㄹ) 答書(ㄱ) 偽造証書(ㄴ)
 取調書(ㄷ) 調書(ㄹ) ト上伸書(ㄱ) 證書(ㄴ)
 記號ノ上ヘニ記スヘシ今例ヲ掲ゲテ之レヲ示サン

裁判	法律	刑法	治罪法	顛覆
無罪	捕搏	知覺精神	希望	加減
詳細	公判	對照	故殺	謀殺
違警罪	詐偽	侵入	取財	數罪
俱發	理由	家督	自首	過失
宥恕	朗讀	重罪	拔刀	勸誘

例ヲ掲ゲテ之レヲ示サン
符號ハ(/)トス其記載方ハ符號ヲ以テ記号ヲ貫徹スベシ

請求	自首	偽証	費用	漂著	誣告	睡眠	國事	重懲役	邦土	危險	危險	符號ハ(/)トス其記載方ハ符號ヲ以テ記号ヲ貫徹スベシ
賠償	知覺精神	暴行	冒認	故殺	受理	事故	等級	輕懲役	僭竊	保護	保護	
放火	負傷	借用	謀殺	攜帶	事情	死刑	加減	記載	朗讀	宥恕	宥恕	
竊盜	詐稱官	偽造	捕搏	兇徒	勸誘	無期徒刑	禁獄	朗讀	損壞	本刑	本刑	
歐打	類似	委託品	受賍	聚集	淫行	殺害	減輕	損壞	妨害	等ノ如キモノ即チ是ナリ	等ノ如キモノ即チ是ナリ	
致死	侵入	遺失	隱匿	煽動	法條	害意	內亂	妨害	障礙			
強姦	誹毀	紛失	漂流	過失	法理	拔刀	顛覆	障礙	障礙			

其

衛生費 土木費 勸業費 雜費 警察費 養育費 救恤費 教育費
費點

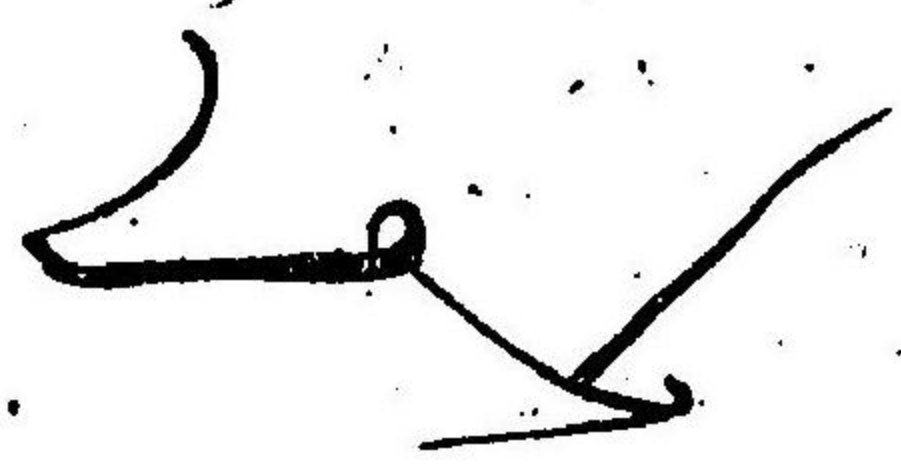
ズ

リ(ノ)印ヲ要スル丁裁判人點ノ部ニ述ベタル如シ依テ今茲ニ例セ
符號ハ他ノ人點ト同一ナリトス故ニ倘シ他ノ人點アルハ其分ニ限
委員 贊成者 立按者 究民 慈善家 筆記者 筆生
民 人民 百姓 農民 番外 商法人 書記 貧民 赤貧者 説明
事 理事 組長 副組長 修正委員 委員 議員 府民 國民 村
本員 常置委員 議長 副議長 會長 副會長 會頭 副會頭 幹
會議人點

モ可ナリトス

此法ハ會議ニ專用スルモノナレドモ便宜ニヨリ他ノ筆記ニ代用スル
會議筆記

會議筆記法



貧苦 貧困 困却 苦心 赤心 赤貧 當撰 人撰 官撰 手續
現今 當時 今般 合計 合算 民情 視察 小民 水害 水難
義務 追加 寄付 權利 但書 增加 增給 增減 給與 減額
具狀 具伸 修正 指令 指揮 承諾 協議 協同 徵集 徵募
說明 駁擊 不參 陳述 辨論 地方 各地方 退散 理由 原因
決 想像 想像說 困難 貧究 布達 布告 課目 辨明 建議
本按 過半數 半數 朗讀 贊成 少數 起立 可決 否決 判
出席 撰舉 投票 原按 議案 修正案 廢按 立按 草按 本文
載セシモノヲ見テ其概略ヲ知ルヲ得ヘシ
此法ハ會議ニ關スル言語ヲ專ラ略スルノ法ニシテ其言語トハ右ニ掲

會議略語法

トナシ國會ナレバ(ノ)トナスガ如シ以下推シテ知ルベシ
符號ハ(ノ)トス假令ハ通常會ナレバ(ノ)トシ衛生會ナレバ(ノ)

說會 學術會

- 話會 離別會 共進會 博覽會 浴問會 宴會 夜會 商工會 演
 - 生會 慈善會 國會 研究會 懇親會 縣會 講習會 農談會 談
 - 區會 議會 前會 一次會 二次會 三次會 通常會 定期會 衛
 - 開會 閉會 立會 府會 町村會 村會 町會 臨時會 郡會
- 會點

以下皆此例ニ倣フベシ

- トナシ養育費ナレバ(ノ) トナシ建築費ナレバ(ノ) トナスガ如シ
符號ハ(ノ)トス假令ハ衛生費ナレバ(ノ) トシ土木費ナレバ(ノ)
ヒ費 官費 民費 通常費 以上掲グル處ノモノハ其肝要ノミ
町村費 水防費 堤防費 橋梁費 道路費 川浚費 汲除費 溝浚
費 縣費 郡費 區費 村費 町費 旅費 辦當料 町村費 聯合
協議費 修繕費 建築費 臨時費 會議費 監獄費 豫備費 地方

蝙蝠又至ラス麒麟之ヲ責メケレバ蝙蝠笑テ曰ク私ハ翼ヲ持テキルカ
 アリ升何モ足下ヲ賀スル原由ハアリマセシヨト一日麒麟大會ヲ開ク
 一ヲ云ヒナサルモノカナ私ハ足カ有テカケ歩キマスレバ獸ノ屬下デ
 セズ倨傲ト云フベシ蝙蝠ヌカラヌ顔シテ曰クオヤク足下ハ奇妙ナ
 テ曰ク汝ハ我が屬下ニ居リナガラ我レニ祝ヒ事アルヲ知リテ來リ賀
 第一 鳳凰ノ生辰ニ百鳥朝賀ス惟ダ蝙蝠ノ至ラス鳳召シテ之ヲ責

(全廿一日朝野新聞雜錄拔萃
 明治十八年十一月十三日 全十五頁)

綴字例題反丈

- (8) 議長二次會ヲ開クベキヤ否ヲ訪フ△
- (9) 少數ニ付消滅△
- (10) 過半数ニテ可決△

- (7) 五番ノ説ニ同意者起立△
- (6) 議長次ヲ取ル△
- (5) 議長ニ建議致シタシ△
- (4) 議長書記ヲシテ原按ヲ朗讀セシム△
- (3) 原按ノ説明ヲ願ヒマス△
- (2) 本員ハ二番ノ説ヲ賛成致シマス△
- (1) 本員ハ原案ヲ賛成致シマス△

號外略符

- △ (トナスガ如シ以下推シテ知ルベシ)
- △ (トナシ過半数ナレバ)
- △ (トナシ可決ナレバ)
- △ (トナシ否決ナレバ)
- △ (トナシ關席ナレバ)
- △ (トナシ關席ナレバ)

(トナスベシ以下準之
 倘シ三番ノ説ヲ賛成ナレバ)

- 取扱 備荒儲蓄金 支出 豫算 議事 細則 竟見 所見 答辨

「へい御役人様ノ前デゴサリマスガ私ノ女ガ色男ヲ拵ヘマシテ何處坐リマシテ上リマシタ」願ヒガナクツテ來ル譯ハナイ早ク申上ゲロ
(第二) コリヤ、ヤイ其方ハ何用アツテ參ツタ「ハイ少々願ヒノ筋ガ御蝙蝠主義ヲ持ツ者ナリ

ヤ、私ハ四肢五躰ガアルカラ獸デハアリマセンヨト云ハン是誠ニト答ヘン然レバ汝ハ獸デアリナカラ何故山林ニ居ラヌヤト詰レバオテハアリマセンヨ如何シテ恩ニ酬ユナド、云フヲ知リマスモノカ之ニ向テ汝ハ人ニアリナカラ何故ニ恩義ヲ知ラヌヤト云ヘハ私ハ人人情ヤト然ルニ今日世上此ノ如キ人(否)者ハ決シテ鮮少ニ非ズ若シニ及バヌ杯ト云ラ足下ヲ厭フノ意アリト某氏歎シテ曰ク輕薄ナル狭キ様ナリ早ク少々計リノ者ヲ返シテ仕舞ヘバアノ人ニ頭ヲ低グルアリ又何程カ立テ替ヘテモラヒシ金アルガ為メニ何ニトナク肩身ノ專ラ某ニ取り入り足下ヲ以テ眼上瘤思ヒ前年少々世話ニナリシコト

日人アリ某氏ニ語テ曰ク君ハ再ビ彼人ノ許ニ往來スル勿レ破レ近頃ヲ歩行スルキハ毎ニ之ヲ問ヒテ時々澁茶一杯ノ馳走ニナル丁アリ一家内ヲ見廻ス身トナレリ是ニ於テ某氏モ大ニ安堵ノ思ヒヲナシ近邊之ヲ經紀シ更ニ其ノ人ノ為メニ職業ヲ周旋シ今デハ先ヅ火鉢ヲ控テニ思ヒ慨然トシテ之ヲ身ニ引受ケ多クノ時間ト多少ノ入費ヲカケテ頼ミト為スハ獨リ足下ノミ足下幸ニ不便ヲ垂レヨト云フ某氏氣ノ毒リテ頻リニ某氏ニ泣キ付キ足下ニアラザレバ此ノ事ヲ成就シガタシ途ヒ此ノ毛唐人ノ寐言ノ甚ダ味アルヲ覺ユ一人アリ甚ダ困難ノ事ヲ來動モスレバ入トモ付カズ獸トモ付カヌ人間(四肢五躰文々ハ)ニ出スルニハ困リ切ルト此ハ是レ曾テ毛唐人ノ書ニ見タツモノナリ余ハ近ノ中ガ澆委トナヅテ蝙蝠奴ノ鳥トモ付カズ獸トモ付カズ徒ヲ多ク生ト麒麟ト相會シ語蝙蝠ノ事ニ及ヒ互ニ嘆シテ曰クヤレ、此頃ハ世ヲ鳥ノ部類ト心得テ居リ升何ゾ足下ノ御世話ニナランヤト一日鳳凰

ゼシ言ナルベシト雖我邦ノ小吏ニ重大ノ威勢アルニハ外人モ甚ダ
掛リ權利アル條約改正マダ承知シマセント是レ蓋シ一時ノ怒リニ乘
セズ頃日或ル外國人ハ人ニ語リテ曰ク日本ペケ人民ニ權理ナイ受附
知ラザルモノハヘドモドシテ言ヒ度事モ口カラ出ズ引返ス丁ナシト
因襲ニテ今日ニ於テモ往々威張り散ラス癖アリ為メニ官衙ノ様子ヲ
構ノ事ト思ハル、ナリ然ルニ獨リ彼ノ受附吏ナルモノハ昔シヨリノ
ニハ決シテ去ル荒々シキ御役人様ノナキハ人民ノ為メ此上モナキ結
レ舊幕時代ノ役所向キニハ能クアリシコトナルガ明治政府ノ官衙ニ
何處ヘ願ヒマシテ宜イ事デゴザリマス「エ、面倒ダ知ラヌト這ハ是
歲ニナリマス」御領分ガ違フカラ取上ゲニハ相成ラス「ソレナラバ
住居致シ居ル何歲ヂヤ」ヘイ戸籍ハ仙台白石ニゴザリマシテ六十五
テ御尋子出シテ願ヒマス「不埒ナ事ヲ願ヒ出ル奴ヂヤ其方ハ何處ニ
ヘカ逃亡致シマシテ行方ガ知レマセヌ何卒御上ソ御威光ヲ持チマシ

レバ御話申ス事モナシト謝絶セリ翌日ニ至リ其書生自ラ韓退之ヲ氣
杖ヲ提ゲタリト於是例ノ冷客ナルヲ知リ余ニ於テハ別段高論モナケ
至爵袖至腕ノ少年書生ニテ三度笠然タル帽子ヲ持チ犬殺棒ノ如キ洋
御人物ナレバ御高論ヲ承リ度參上致セリト其人物ノ様子ヲ問ヘハ衣
取次ギノ者ニ命ジ其來意ヲ質サシムレバ貴君ハ生ト同縣ニテ有名ノ
テ何處ニテ知已ニナリシ人物カト頻リニ勘考スレモ思ヒ出サス因テ
アリ把リテ之ヲ見レバ同縣人ニテ何ノ誰ト立派ナ姓名ヲ印刷セリハ
モノアリ是レ他事ナラス乃チ書生ノ冷客ナリ一日名刺ヲ通ズルモノ
ヲ書ク様ナルガ僕一ツノ足下ヲ煩ハシテ雜録ノ世話ニ為ラントスル
(第三) 余此ノ頃一紳士ニ邂逅ス紳士曰ク足下近頃頻リニ朝野ノ雜録
ナラス亦條約改正ヲ決行スル間接上ノ一方便ナランカ
ハ常ナリ故ニ受附掛リノ威張ルヲ禁止スルハ内國人民ノ為メノミ
驚キ入ルヲナランニ王ノ顔ヲ見テ本尊マデ怖イ者ノ様ニ思フハ人情

シテ開門ナリト因テ與ニ大笑セリ。顧フニ書生ハ風習ヲシテ今日ハ如
バ毎日數十名ノ我門ニ輻湊スルヲ見ルニ至ラントス。是レ閉門ニ非ズ
ヲ學バサルヤ紳士笑テ曰ク若シ面會ヲ謝スル為メニ羹ヤ飯ヲ出ダサ
閉門飯ト云フモ可ナリ使君若シ書生ノ冷客ニ困ラバ何ゾ此ノ遺法
備ムルヲ例トセリ故ニ其ノ意ヲ知ル者ハ宿セズシテ去ル之ヲ名ケテ
周旋セリ然ルニ其遊歷人未熟ニテ周旋スルニ足ラサレハ則チ粟飯ヲ
世々書畫ヲ好ミ遊歷人ノ來ルモノアレバ家ニ宿セシメテ之ヲ知己ニ
テ自ラ辭シ去ルノ謂ヒナルヘシ余ガ友人ニ是レニ似タルコトアリ家
セザレ氏思フニ厄介者ヲ拂フニ此ノ羹ヲ食ハスレバ彼レ其ノ意ヲ悟
氏曰ク余或ル書中ニテ閉門羹ノ字ヲ見シコトアリ未ダ其出處ヲ詳カニ
至リテ無遠慮ニ面會ヲ求ムル者ヲ拒絕スルノ良策ヲ江湖ニ問ヘ夢遊
ガルベカラス足下請フ之ヲ雜錄欄内ニ持子出シテ夫ノ白手人ノ門ニ
以テスルコト能ハサルモ燔薯ノ數斤炒豆ノ一袋位并ノ禮物ハ持參セ

ヒ禮記ニハ士之始相見也必以贄トアリ書生ハ位置ニテ立派ナル贄ヲ
宜ニ因リ巴ムヲ得ガルコトナラン然レ諺ニ親子ノ間ニモ禮義アリト云
學校ヘ入學ノ証人ト為テ呉レヨト云フアリ抑モ頼ムモ頼マル、モ時
ノ好ミ、學資ノ助ケヲ願ヒタシト云フモノアリ又一二面ノ識ヲ以テ
ヲ頼ンデ「何レ御禮ハ」一言ヲ以テ雲烟ニ付シ去ルモノアレバ同縣
シテ同儕ノ話シヲ聞クニ尚ホ是レヨリ甚シキ者アリ或ハ詩文ノ添削
郎屋ニハ冷客アリト聞ケド學者々流ニ冷客アラントハ思ハザリキ而
何程ノ人物ナルカ冷ヤカシニ行テ見ントノ了簡ナリ商人ノ店頭ト女
ヲ送ラル而シテ其書生ノ底意ヲ叩ケバ彼レハ近頃少々名ヲ賣出セリ
ヘバ無鐵砲ノ空談ニ時間ヲ費サセラレ逢ハザレバ則チ堂々ノ議論書
リ此ノ書生ノミナラス時々我門ヲ叩テ高論ヲ聞カント云フ人アリ逢
亦前進ノ為メニナル功能アル所以ヲ述ベ立テタリ此クノ如キ者ハ獨
取リ數千言ノ論文ヲ寄セテ前進ハ後進ノ世話ヲセザルベカラス後進

其ハ聞クニ及バヌコナリトテ痛ク劔突ヲ賜フ人アル様ナリ成程人ニ
ハ病狀ヲ患者ニ告ゲヌト云フ法則ヲ固守シ少シニテモ容体ヲ尋ヌル
ノ間ニ本病ヲ療治スルコトモアラン然ルニ近來ノドクトル先生ノ内ニ
患者ノ神經ヲ安ンジテ頓ニ病氣ヲ輕クシ或ハ神經ヲ一方ニ誘ヒテ其
ノナリ故ニ醫者ノ療治方モ獨リ手術藥餌ノミニ依頼セズ時トシテハ
ニ之レ有ルニモセヨ神經ノ作用ニヨリテ亦大ニ病勢ヲ輕重ヲナスモ
タリト云フ人間ノ病氣ハ往々神經ヨリ來タル者アリ假令ヒ病源ハ他
ケタル角弓ニ添モテ畫ケル蟲蛇ノ影法師ナリト聞キテ病痾頓ニ癒エ
ニ覺エ深ク氣ニ掛ケテ竟ニ病氣ト為リシガ彼ノ杯中ノ蛇ハ壁上ニ掛
（第四）昔シ支那ノ或ル男ガ酒ヲ飲ム折柄杯中ニ蛇ノ姿ノ現ハレシ様
ルニハ自ラ禮儀アルコトヲ思考セラレヨ
ヲ遣ヘト云ハルハニ相違ナシ世間許多ノ小韓退之先生連ヨ士ノ相見
カナラシムレバ周公モ是レデハ髮ヲ洗ヒ飯ヲ食フ暇ガナイカラ留守

以上抄出

録各々筆記文字ヲ并列シテ右方ニ示ス

百五

ル者アル様ナレバ何ゾ獨リ此等ノ醫者殿ヲ是レ咎メンヤ
支ヘナキコトマデモ隱蔽シ為メニ他人ヲシテ一種ノ神經病ヲ起サシム
リカタキ譯合ナリ然レト世ニハ秘密主義トカ云ヒ之ヲ明白ニシテ差
病狀ハ患者ノ問フヘキコトニ非ズトテ一切之ヲ擯斥スルハ些ト了解任
ノ譯ケヲ聞キテハ一服ノ藥ヲ用ヒズシテ直ニ快癒ニ就クコトアリ故ニ
ニハ疑懼ナキ能ハズ盃中ノ影法師ニモ勢ヲ引起シタル弱虫先生モ其
ニ病勢ヲ増加スルモノ少ナカラズ豪傑ノ士ト雖モ知ルベカラザルコト
容體ヲ告ケヌノハ當然ナレト患者ノ中ニハ隨分妙ナ神經ヲ起シ為メ
因リ病狀ヲ聞ケテ為メニ失望ヲ發スル者モアレバ一般ノ規則トシテ

(第一) 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

Handwritten text in a cursive script, likely Chinese characters, arranged in approximately 12 horizontal lines. The characters are dense and connected, characteristic of traditional Chinese calligraphy.

百七

Handwritten text in a cursive script, likely Chinese characters, arranged in approximately 12 horizontal lines. The characters are dense and connected, characteristic of traditional Chinese calligraphy.

(第三) 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

Handwritten text in a rectangular box, likely a list or a set of instructions. The text is written in a cursive script, possibly a form of shorthand or a specific dialect. The characters are somewhat stylized and difficult to decipher. The text is arranged in approximately 10 lines, with some lines starting with a small symbol or mark. The overall appearance is that of a handwritten document or a page from a notebook.

明治十九年五月十五日 版權免許
同 年 六 月 出 版

定價金六拾五錢

鳥取縣平民

著者 藤井源太郎

大坂府西區本田三番町
四十九番地寄留

大阪府平民

出版者 小山龜松

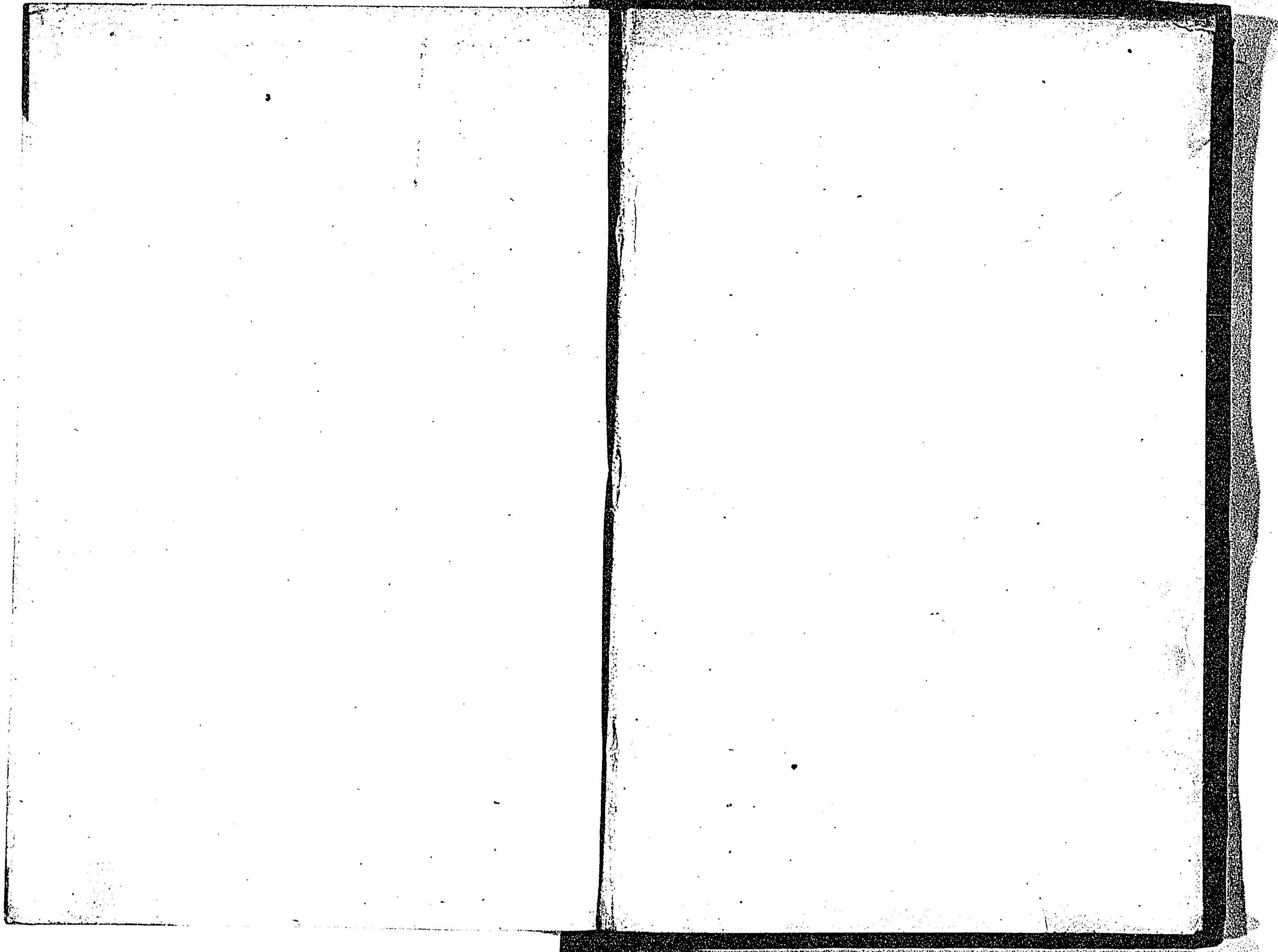
東區南久太郎町
四丁目十四番地

此書ヲ購求セシ
諸君ニシテ質疑アラバ
一問ニ付キ
郵券一枚ツヅ、
御送致アラバ
之レガ疑問ニ應ズベシ

但シ申込所ハ

大坂西區本田三番町四十九番地

速記學實地研究會



六日未歌古書會
五〇
架號
一七

076738-000-9

特16-312

速写之秘術

藤井 源太郎 / 著

M19.6

DAB-0093



16

12

16

32

1

39